



状態別対応セミナー中重度編

～多職種を活かした関わりとは～

開催日：令和5年6月18日（日）

会場：オンライン開催

参加者数：21名

研修認定委員会より

通所リハビリテーションは、医師を含め多職種で対応できることが強みです。そこで改めまして多職種による関りを皆様で議論できればと思い企画しました。

研修会の内容は、中重度者の通所リハビリテーションに求められる機能や中重度者におけるケアマネジメントについての講義に始まり、その後は事業所からの実践報告となっています。なお、取り組みについては、セラピスト、看護師、介護福祉士それぞれの視点で報告をして頂きます。さらに、講義に加えて、参加者の日頃の悩みを解決できるグループワークも企画しています。

中重度者へのプログラムや運営のコツ
中重度者におけるケアマネジメントについて
中重度者への具体的な実践事例
中重度者への受け入れに向けた課題と具体的な
対策の検討

状態別対応 セミナー 中重度者編

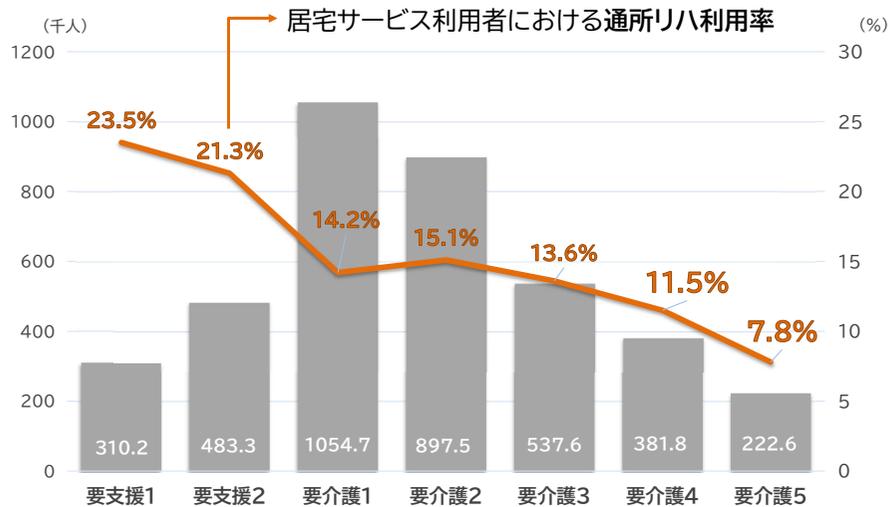
～多職種を活かした関わりとは～

2023.6.18 SUN 10:00
16:15

【開催方法】 オンライン開催	【受講費】 〈本セミナーのみ〉
【定員】 50 名（定員になり次第締め切り）	会員： 5,000 円（税込） 非会員： 10,000 円（税込）
【申込方法】 QRコード、または協会HPよりお申し込み ください。＊詳細は裏面参照	〈本セミナー＋介護予防編＊〉 ＊介護予防編とのセット割 ¥1,000円引き！
【お問合せ】 E-mail kenshu@day-care.jp	会員： 9,000 円（税込） 非会員： 19,000 円（税込）

一般社団法人 全国デイ・ケア協会

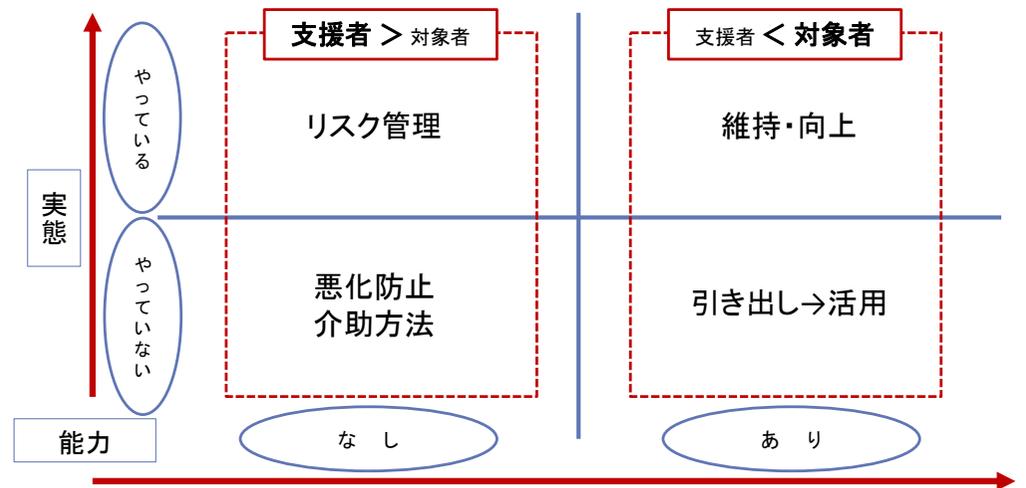
介護度別の利用実態



請求事業所数：8,053 施設 利用者数：594,800 人
 平均介護度：1.73(通所リハ) / 2.05(居宅サービス利用者)

データ：介護給付費実態統計 R4年6月審査分

ケースのカテゴリー化

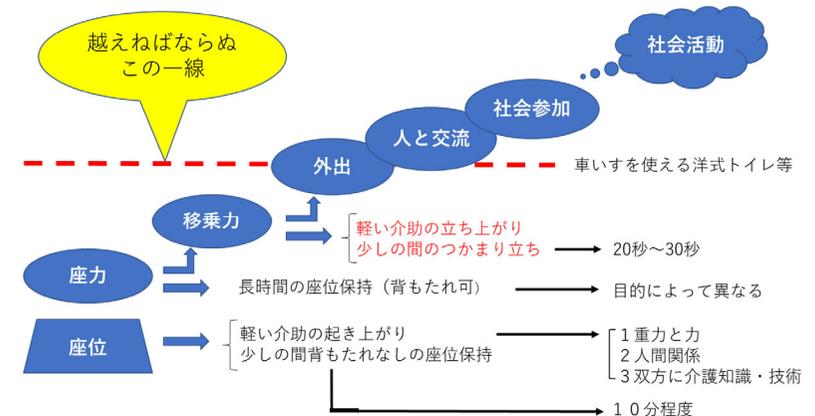


中重度者の利用が少ないのはなぜか…

- 静養室のベッドに寝て過ごす時間が多い
- 車椅子に座りっぱなし
- 本人ができることが少ない
- 医学的管理が必要で、リスクが高い
- リハビリの効果はあるの？
- 受け入れてくれるデイケアが少ない？

中重度者こそデイケアを利用してほしい

「外出」が要介護者の社会を拓ける



引用：症状・疾病でわかる高齢者ケアガイドブック